

# TIC NEWS

vol. **146**  
2023.1

(公財) とやま国際センター

〒930-0856 富山市牛島新町5-5

インテックビル4F (タワー111)

TEL (076) 444-2500

FAX (076) 444-2600

E-mail: [tic@tic-toyama.or.jp](mailto:tic@tic-toyama.or.jp)

URL: <http://www.tic-toyama.or.jp>

今回のテーマ

## ピーター流生き方のすすめ

- ・自分が主人公になる時代
- ・オフラインのすすめ
- ・身近な人を感じよう
- ・国際人と愛国心



ピーター・フランクルさん(右)

## 多文化共生で地域が変わる！

去る11月20日(日)、インテックビルスカイホールにおいて、令和4年度多文化共生フォーラムを開催しました。

# 国際交流フェスティバルウィーク in TOYAMA 2022

日時：令和4年11月13日(日)～11月18日(金)

場所：富山駅前CiCビル内（1,3F）

共催：富山市民国際交流協会、JICA北陸、(公財)とやま国際センター

「異文化理解と交流を深める」ことを目的に、CiCビルで国際交流フェスティバルウィークが開催されました。オープニングの講演会では、長野県戸倉上山田温泉 旅館「亀清」 店主 タイラー リンチさんを講師に迎え「外国人が求めるおもてなし～アフターコロナ版～」をテーマに、外国人の文化的背景を踏まえ、おもてなしの秘訣についてご講演いただきました。タイラーさんは、アフターコロナ時代のおもてなしには、「地元住民とのふれあいが大事」と語り、宗教などの特別の配慮がある観光客への食事、入浴面等での工夫、時代にあった決済方式に対応するなど、様々な工夫が必要と話されました。

その他、各国・団体紹介ブース、書道体験、二胡演奏、ベトナムランタン作り、サンクスギビングクラフト作り、JICA青年海外協力隊体験談、韓国とのオンライン交流、英語講演を開催し、初日は、約240人の参加者でにぎわいました。



## 外国人のための防災講習会

日時：令和4年12月4日(日)

場所：富山県総合運動公園（陸上競技場地下会議室）、四季防災館

講師：特定非営利活動法人富山県防災士会 村上 綾子 氏

外国人住民を対象に「災害時に自分と家族を守る」というテーマで「外国人のための防災講習会」を開催し、ベトナム、マレーシアとブラジル出身の外国人住民6名と災害時外国人支援ボランティア6名が参加しました。

講師から災害時に備えて「非常持ち出し袋」など日頃から準備しなければならないことについて講義を受け、その後、四季防災館へ移動し、起震装置による東北地方太平洋沖地震や兵庫県南部地震などの体感やホテル火災での避難など体験型の学びをしました。

参加者からは「自国では地震がないのでいい経験になりました」などの感想がありました。



## 多文化理解連続講座

第2回 10月8日(土) 10:00～11:30 “ニュージーランドの福祉と教育”

マリエル・トナーさん(ニュージーランド在住)

第3回 11月27日(日) 10:00～11:30 “富山の8年が僕にもたらしたもの”

ネイサン・ニューポートさん(アメリカ在住)

第2回目の講座は、マリエル・トナーさんが“プレイセンター”という保護者が自ら運営するこども園、また健康上の理由で通常の学校に通えない生徒が通う“ヘルススクール”というニュージーランド独自の教育施設について紹介しました。初めて英語で行ったZoom講座となりましたが、参加者はニュージーランドの教育における“ウェルビーイング”について理解を深めました。

第3回目の講座は、富山市で小学校3年から高校1年までの8年間を過ごしたネイサン・ニューポートさんが、富山に初めて来た頃のカルチャーショック、アメリカに帰ったときの逆カルチャーショックなどについて、二つの文化を渡り歩いてきて感じたことを参加者の皆さんとシェアしてくれました。ネイサンさんの当時の同級生など懐かしい面々も参加した今回の講座ですが、当時を思い出しながらの楽しいオンラインセミナーになりました。



プレイセンターの様子

～次回の多文化理解連続講座のご案内～

第4回 1月14日(土) 10:00～11:30 “美容に効く 漢方のはなし” 張 富剛さん(中国在住)

## 日本海学講座

第2回 10月15日(土) 14:00～15:30 “日本海・富山湾の海洋ごみ問題”

富山県立大学名誉教授 楠井 隆史 氏

第3回 11月12日(土) 14:00～15:30

“北前船と富山 ―研究の歩みと町並み散策―”

富山県文化財アドバイザー 松島 吉信 氏

第2回目の講座は、富山県立大学名誉教授の楠井氏に、日本海・富山湾の海洋ごみ問題について、地道な活動と科学的データに基づき、わかりやすく講義していただきました。漂着物調査の開発経緯や、県内の事例等は、大変興味深い内容でした。受講者の皆さんの関心も高く、質疑応答の場でも熱心なやり取りが行われる等、有意義な講座となりました。

第3回目の講座は、富山県文化財アドバイザーの松島氏に、江戸時代に活躍した北前船に関連した富山県の歴史について、楽しく講義していただきました。北前船の海運・流通史をはじめ、漂流民や、昆布の普及等について、深い知見に根ざした講義をしていただきました。北前船の奥深い歴史に、受講者の皆さんも興味深く聴講していました。



講座の様子

## 日本海学シンポジウム「潟と日本人 ―日本海の生態史―」

日時：1月21日(土) 13:00～16:00 場所：北日本新聞ホール

【基調講演】

『潟』文化論―低湿地で生かされた人びとの生活―

講師：菅 豊 氏(東京大学 東洋文化研究所 教授)

【パネルディスカッション】

コーディネーター：秋道 智彌 氏(山梨県立富士山世界遺産センター所長、日本海学推進機構会長)

パネリスト：菅 豊 氏(東京大学 東洋文化研究所 教授)

高橋 輝男 氏((公財)富山市ファミリーパーク公社 企画事業課主査)

中野 知幸 氏(羽咋市教育委員会文化財課 羽咋市歴史民俗資料館 学芸員)

シンポジウムを  
開催します！



# 令和4年度多文化共生フォーラム

## “多文化共生で地域が変わる！”

日時：令和4年11月20日(日) 14:00～16:00

場所：インテックビル 3階スカイホール

第1部は“ピーター流生き方のすすめ”と題し、ピーター・フランクさんをお迎えし、対談を行いました。数学者であり大道芸人でもあるピーターさんのジャグリングの披露もあり、会場は大いに盛り上がりました。

第2部はNGOダイバーシティとやま代表 宮田 妙子さん、KODOMOTACHI代表のシルビア・デ・ソウザさん、ピーターさんによるパネルディスカッションを行いました。

宮田さんには、県内外の多文化共生の成功事例を紹介して頂きました。また、自身が関わっている多文化共生畑での一コマから、「日本人は熟れたカボチャを好むのに対し、東南アジアの人たちは若いカボチャを好んで野菜炒め等に使うことが新しい発見だった。こんなことは外国の方が自分たちの生活に入ってくないと気づけないことだった。逆に、私たちには当たり前にも思えても外国人から見ると宝物ということも同様にあると思う。富山の魅力を逆に外国人に教えてもらって住みよい富山県にできるはず」というコメントがありました。

シルビアさんからは射水市のBraves Cultural Centerで行っている、ポルトガル語母語保持活動、ブラジル人児童向けの日本語教室、コミュニティ図書館、地元の日本人やロシア人もなども参加する様々なカルチャースクール、イベントについての紹介がありました。「是非、日本人にもたくさん来てほしい」とシルビアさんは語りました。



パネルディスカッションの様子

### 対談“ピーター流生き方のすすめ”より

Q. 数学が苦手な人に何かアドバイスはありますか？

A. 人間には当然得意な分野とそうではない分野があります。作文は下手であっても誰でも書けますが、数学は正解か不正解かが明らかになるので、正解を出せない場合は苦手意識が強くなります。それを乗り越えるには人一倍努力をするしかないかもしれませんが、数学はこれからの世の中には大切になりますので、頑張ったほうがいいですね。3桁の計算を素早くできるとか、そういうことが大事なのではなく、物事を論理的に考える事、データを処理してその中から必要なものを見つける、こういったことが数学の能力と言えます。麻雀や論理的なゲームをやってみたりすることで鍛えることができますよ。



ピーター・フランクさん

Q. 12カ国語に堪能なピーターさんですが、外国語習得のヒントを頂けないでしょうか？

A. 今は昔よりうんと楽になりましたね。インターネットを活用したり、好きな映画の字幕をコマ送りしながら勉強するのもいいですし、ラジオは映像に頼ることができないので、きれいな発音で分かりやすく話しているからすごくお勧めです。外国語は数学や物理の学習よりは楽なんです。何億という人が素晴らしい英語を話しています。富山の皆さんにそれができないはずがないです。大事なことはメッセージがあることです。あなたが有益な情報を与えるなら相手は喜んであなたと付き合う。相手の心を掴むことが大事です。

Q. 「国際人」とは何でしょう？

A. 国際人とは心の問題です。新しい人間に会ったとき、共通点を探して接しようとする人は国際人だと思うんです。今、世界が対立している様子を見ると悲しくなります。日本人にはなるべく穏やかな態度で喧嘩を避けようとする意識があります。日本人こそ「国際人」になりやすいと思います。

Q. 外国にルーツを持つ子どもたちに何か良いアドバイスはありますか？

A. 「郷に入っては郷に従え」で、日本に住んでいる以上は、できるだけ日本に合わせられることは合わせてほしいと思いますが、自分の文化とルーツをおろそかにするのも良くないですね。受入側の日本人が忘れてはならないのは、ここに住んでいる子どもたちは自分の意思でここに来たわけではない、ということです。多数派である日本人は少数派である外国人に手を差し伸べてほしいです。富山にはいい思い出があって、東京大学のジャグリングサークルにいた富山県出身の生徒が高岡の実家に二泊も泊まらせてくれたことがありました。日本人はあまり自分の家に人を招待しませんね。統計でみると富山県の住宅延床面積は日本一ということで、皆さんが思っているほど狭くない。人を家に呼んで家族での付き合いができるなら最高ですね。

## 令和4年度富山県国際交流部門功労・第27回とやま国際草の根交流賞表彰

去る11月17日(木)、富山県民会館において、富山県との共催により、上記の表彰式を行いました。受賞者は以下の皆様です。(※ 前田進氏への表彰はブラジル富山県人会創立60周年記念式典(11月6日(日)サンパウロ市)において実施)



### ーとやま国際草の根交流賞ー

#### 今井 史子 さん

富山市民国際交流協会の役員として協会運営や「国際交流フェスティバル」等の企画運営に携わるとともに、中国河北省秦皇島市との市民レベルでの草の根交流を推進する「北戴河の会」のメンバーとして訪問団の受け入れ等に尽力されました。

#### 黒川 哲男 さん

長年に亘り富山県日韓親善協会の役員として協会運営に携わるとともに、韓国全羅南道、慶尚南道の各韓日親善協会との交流事業に参画し、副団長としての韓国表敬訪問や周年事業としての韓国高校生の受け入れなど日韓交流に貢献されました。

#### 陳 建強 さん

富山県華僑華人会会長として富山県内に在住する中国人の連携強化に努めるとともに、自ら京劇を県内外で演じるほか、太極拳の普及にも努め、文化・スポーツ交流等日中の友好関係の増進に貢献されました。

#### 平岡 麻子 さん

長年に亘り「とやま世界こども舞台芸術祭」など、舞台芸術の分野における子どものための国際フェスティバルにおいて、通訳ボランティアの中心的な役割を担うなど、国際的な文化交流に貢献されました。

#### 古井 晴香 さん

洋舞指導者として海外出演者の受け入れ・制作に尽力するとともに、「とやま世界こども舞台芸術祭」において出演・指導に加え運営面でも主要な役割を果たすほか、「県民ふれあい公演」ではプロデューサーとして企画運営を主導されました。

#### 砺波市オランダ友好交流協会(会長 米原 蕃 さん)

砺波市姉妹友好都市であるオランダリッセ市と中学生の相互派遣事業(H5～H28)、「砺波市・リッセ市姉妹都市締結30年 チューリップ交流友好展(R3)」を実施するなど、日蘭の国際交流に貢献されました。

### ー富山県国際交流部門功労表彰ー

#### 今井 治 さん

多年にわたり、アメリカ合衆国ニュージャージー州マルボロ町との青少年相互交流事業に尽力するとともに、城端国際交流協会の要職にあって、マルボロ町との信頼関係を築くなど、両国の友好親善や相互理解の発展に貢献されました。

#### 前田 進 さん

ブラジル富山県人会の支部長及び副会長を約27年にわたり務め、南米訪問団の受入れや、富山県に度々訪れ、現地の情報を共有するなど、富山県と県人会の交流や富山県とブラジルの友好親善に貢献されました。



## JICA北陸より、秋のイベント・セミナー報告

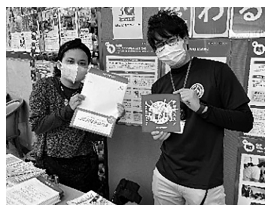
### JICA海外協力隊 秋募集説明会を実施！

11月2日(水)と23日(水・祝)に2回実施しました。富山県出身・在住の協力隊経験者が自身の参加のきっかけや現地での生活・活動の様子を発表しました。後半の座談会では終始和やかな雰囲気に参加者の質問や疑問に真摯に答える姿が印象的でした。

◆個別相談はJICA富山デスクにお気軽に！

### 「たかおか国際交流フェスタ」にブース出展！

11月13日(日) JICAのブースでは世界のクイズやゲームを通して、「世界とのつながり」を感じていただきました。



### JICA北陸のSNSをチェックしよう！

HP :



Facebook :



### JICA北陸設立30周年記念映画上映会&

#### アフリカ体験談

11月13日(日)「おじいさんと草原の小学校」という映画の上映にあわせて、カメルーンの小学校で活動した協力隊経験者のパネルトークと体験談を行い、みんなでアフリカの教育について考えました。



### ラテンアメリカを楽しもう！

#### ～JICA海外協力隊が見た世界～

11月16日(水)にホンジュラス、エクアドル、チリで協力隊員として活動した富山県出身の3名とともに、その魅力に迫るパネルトーク&体験談を行いました。参加者約30名の皆さんと地球の反対側の世界に思いを馳せる夜となりました。



### JICA海外協力隊 写真展「世界のーコマ」

国際交流ウィークにあわせ、富山駅前CiCビル1階にて北陸出身の隊員が現地で撮った写真展を開催し、イベントを盛り上げました。



### JICA海外協力隊からの現地レポート

#### 富山県出身のJICA海外協力隊員からの現地レポート！

今回はボリビアから届いたJICA海外協力隊員 平田すみれさんからのお便りをご紹介します。

私の任地、ボリビアの事実上の首都ラパスはなんと標高3600m越え！富山の立山よりも高い位置で暮らしています。美しい山々に囲まれたラパスに居ると、富山の街並みをふと思い出します。

そんなラパスでの私の活動先は、ラパス市役所が運営するセブラ（しもうまの意）グループです。16歳～22歳までの学生ボランティアにより構成され、主にしもうまの着ぐるみを着て道路に立ち、交通マナー等の市民教育を行っています。他にも小学校での環境教育や様々なイベントに参加しては、より良い街・市民形成に向けた啓発活動を行っています。市内を歩いていると、至る所にしもうまの絵が描かれており、市民からはラパスの一文化として認識されているほど人気者です。私は彼らの活動支援や新規イベントの企画・実施を行っています。会うたびに私の名前を呼んで温かいハグをくれる彼らから、いつもたっぷりの愛情をもらってばかりです。私も彼らに何か届けられていたらいいなと思いながら活動しています。



平田すみれ（ひらた すみれ）さん

派遣国：ボリビア

職種：青少年活動

派遣期間：2022年2月～2024年2月

# 共に生きる TOYAMA

## イグスティ アユ アグング ビンタング プトリ プスピタニングティアスン さん (インドネシア・バリ島出身)

### 来日のきっかけ、富山での生活について

高校生のときから日本に来るのが夢でした。日本語が大好きで小さな日本語の辞書を買ったのもその頃です。ネットで日本のアニメ、“東京ミュウミュウ”、“ONE PIECE”や“NARUTO”、ドラマ等を見るのが大好きでした。ちょうど大学の卒業論文を書いている頃、富山県で、桐谷鉄工が技能実習生を募集している事を知りました。私は面接を受け、無事に採用が決まり、大学卒業後、今年の4月から桐谷鉄工で働いています。今でも自分が日本で働いていることが信じられないような気がしています。



11月3日の外国人技能実習生スピーチコンテストでは、めでたく最優秀賞に輝くことができました。自信がなかったので本当にびっくりしました。スピーチコンテストの話は組合の日本語の先生から聞きました。イベントが大好きな私は挑戦してみることにしました。先生に添削してもらったスピーチの原稿を仕事でもブツブツ暗唱しながら覚えしました。独り言を言っている私を文句も言わず支えてくださった桐谷鉄工の皆さんに感謝します。桐谷鉄工の皆さん、インドネシアの両親、組合の方、昔お世話になった日本語学校の先生方にこの優勝を捧げたいと思います。好きな日本語の勉強を続けて、いつか通訳ができるようになれたらと思っています。

私は会社では“アユさん”と呼ばれています。皆さんに「長い」と言われる私の名前ですが、父親の名字から始まり、兄の名前なども入っています。長男の名前を兄弟の名前の一部に入れることがバリではよくあり、私の親も“アグング（お兄さんの名前）のお父さん”というふうに呼ばれることがあります。アユは「美しい」という意味で女性の名前によく使われ、ビンタングは「星」という意味です。私が生まれたときは小さくて虚弱体質だったので、心配した親が「小さくても、いつか星のように輝けるように」という意味を込めたものです。

日本の自然はとてもバリのそれに似ています。木々、森の感じ、雨の後の雰囲気、空気感などがそっくりですね。日本とインドネシアは似ている所がとても多いですが、日本は3S（整理・整頓・清潔）の徹底、ゴミの分け方などがきちりしているところが違いますね。またプライベートの付き合いでは、人と人との距離が若干遠いところがあるように思います。インドネシアは知り合いになったらすぐ電話番号は交換しますし、あまり知らない人でも「こんにちば」と声をかけるのが普通です。今は離れている両親とは毎日電話しています。父親は「会社の休憩時間には水を飲むように」と毎日のようにマメにメッセージを送ってくれ、気遣ってくれます。会えなくて寂しいです。

### 富山の皆さんへのメッセージ

バリ島に行く機会があれば、是非いろんな風味の豚肉料理を試してみてください。またインドネシア全土で食べられる別腹デザート“ルジャツ”はお勧めです。マンゴー、パパイヤ、パイナップルなどのフルーツをサンバルソースであえたフルーツサラダのようなものです。そしてインドネシア人の優しさ、海の美しさを是非、堪能してください。

## TICから助成した事業をご紹介します

### 富山ネパール文化交流協会の「皆さんと一緒にダサイン祭を祝う」 富山ネパール文化交流協会（射水市）

富山ネパール文化交流協会は平成27年に設立されて以来、ネパールと富山県との交流の促進、在住ネパール人留学生等の支援など活発に活動しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響でしばらく来日がかなわなかったネパール人留学生が、今年4月から100人あまり来日し、県内の日本語学校で勉強しています。

10月9日～10日には、ネパール最大のお祭りであるダサイン祭を祝う催しを、利賀村の瞑想の郷で行いました。総勢60人が集まり、ネパール料理を味わい、皆で踊って楽しいひと時を過ごしました。



## Angu a baiana (アング・ア・バイアナ)

アングはポレンタのようなもので、agunという西アフリカの“粥”を意味する言葉から来ていると言われています。バイアナという名前がついていますが、パイア地方ではなくリオデジャネイロにルーツがある料理です。リオの貧民街の主婦が家計を助けるために、パイア女性のような白いドレスにターバンをまいた姿でこれを売り歩いたことが、この料理の発端とされています。



～作り方～

### 【ソース】

1. 砂胆、鶏レバーを酢できれいに洗い、5分間水にさらしておく。
2. タマネギとニンニクをみじん切りして油で炒める。そこに砂肝とパプリカ、塩、パセリ、オレガノを加えて炒める。
3. 圧力鍋に2と500mlの水を加え、15分間加圧する。
4. ニンニクを油で炒め、鶏レバーを少量の塩をふり炒める。
5. 3に細かく切ったトマト、ミント、4のレバー、水300mlを加え蓋をして、さらに15分間加圧します。塩で味を調えます。



### 【アング】

1. みじん切りしたニンニクをバターで焦がさないように炒める。
2. 1.5Lにコーンミールと塩を加え強火にかける。
3. ころみがでてきたら火を弱めて25分程度混ぜ続ける。粉チーズを混ぜる。アングにソースをかけて頂きましょう！

～材料～ 4人分

### 【ソース】

- 砂胆…………… 250g
- 鶏レバー…………… 250g
- タマネギ…………… 1個
- ニンニク…………… 4辺
- トマト…………… 4個
- パプリカ…………… 小さじ1
- 塩…………… 小さじ1
- パセリ、オレガノ、ミント…………… 少量

### 【アング】

- コーンミール…………… 150g
- ニンニク…………… 2片
- バター…………… 大さじ1
- 粉チーズ…………… 大さじ1
- 塩…………… 小さじ1

## TICからのお知らせ

### これからの行事予定

#### 多文化理解連続講座 (Zoom)

“美容に効く 漢方のはなし”

日時：1月14日(土) 10:00～11:30

講師：張 富剛 氏 (中国雲南省中医医院 医師)

#### 外国語絵本よみかせ親子の会

1月14日、3月11日 英語 2月18日 ベトナム語

場所：環日本海交流会館 10:00～11:00

#### 国際交流ひろば「アルゼンチン料理」

レンズ豆のシチュー、チョコトルタ

日時：2月12日(日) 14:00～17:00

場所：富山県民共生センター「サンフォルテ」

#### 国際交流人材バンク通訳者セミナー (Zoom)

～多文化共生社会におけるコミュニティ通訳の役割～

日時：2月18日(土) 13:30～15:30

講師：内藤 稔 氏

(東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授)

#### 異文化理解ワークショップ in 富山 冬の陣

立山かんじき、チューブそり体験、ワークショップ等

日時：2月19日(日) 8:00～17:00

場所：立山青少年自然の家

### TICメールマガジン配信しています！

7カ国語（日本語・英語・中国語・ポルトガル語・ロシア語・韓国語・ベトナム語）でメール配信します。  
(月1回)

(公財)とやま国際センターからのお知らせをはじめ、イベント情報、外国人向け生活情報・防災情報をお届けします。

登録はこちらから



### (公財)とやま国際センター賛助会員募集 及び寄付のお願い

公益財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円  
団体会員 30,000円